

# 平成30年度 施政方針

大槌町議会 3月定例会において平野町長が今年度の町政運営について述べた施政方針演説の内容について、抜粋してお伝えします。

## 復興計画の着実な実施

平成23年度から進めてきた大槌町東日本大震災津波復興計画は、平成30年度に計画期間の最終年度を迎えます。防災集団移転や土地区画整理など面整備を着実に進め、一日も早く復興を成し遂げるためにも、引き続き各種事業に取り組み、被災者の生活再建状況、復興の進展を注視しつつ、課題、問題に対して適切に柔軟な対応を進めてまいります。

## 地方創生に向けた取り組み

人口減少と少子高齢化は、全国的な

問題でもあり、当町の人口減少問題については現状をしっかりと捉え、人口減少の抑制を図るため、各分野の事業を確実に取り組んでまいります。

これまでも進めてきた地方創生総合戦略においては、外部評価による委員の意見・提言を踏まえ、今後も町の特色ある地域資源を活用した魅力あふれる町の創出に向け、引き続き取り組んでまいります。

また、釜石市との定住自立圏形成協定においては、これまでも釜石市と取り組んできた共通課題を克服すべく、大槌町と釜石市が自主性と自立性を互いに尊重し、それぞれの強みを生かして広域的な取り組みを進めてまいります。

## 平成30年度の主要施策の概要

平成30年度における具体的な施策であります。復興基本計画に掲げる4つの生活基盤において、第3期復興実施計画と各種計画が連動した施策を次のとおり取り組んでまいります。

- 〈空間環境基盤〉
  - ・ 1日も早い住まいの確保と更なる支援
  - ・ 住宅再建への後押し
  - ・ 復興関連の道路網整備

- ・ 防集跡地の利活用
- ・ 多重防災への取組み
- ・ 旧役場庁舎の解体
- ・ 交通環境整備の推進
- ・ 斎場整備の推進

## 〈社会生活基盤〉

- ・ 健康づくりの推進
- ・ 子ども子育て支援
- ・ 介護、高齢者福祉施策の展開
- ・ 医療費助成、国保事業の推進
- ・ 仮設住宅の集約と「コミュニティ総合支援

## 〈経済産業基盤〉

- ・ 農林水産業の振興
- ・ 商工業の振興
- ・ 企業誘致の促進と雇用対策
- ・ 観光振興の更なる促進
- ・ ブランド化の推進と観光物産協会との再構築

## 〈教育文化基盤〉

- ・ 教育大綱と教育基本条例の制定
- ・ 教育の充実
- ・ 生涯学習の拠点整備
- ・ 震災伝承の推進

## 総合計画の策定

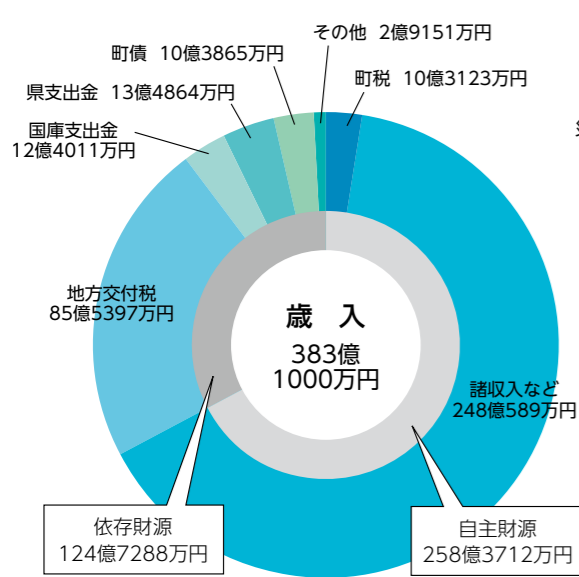
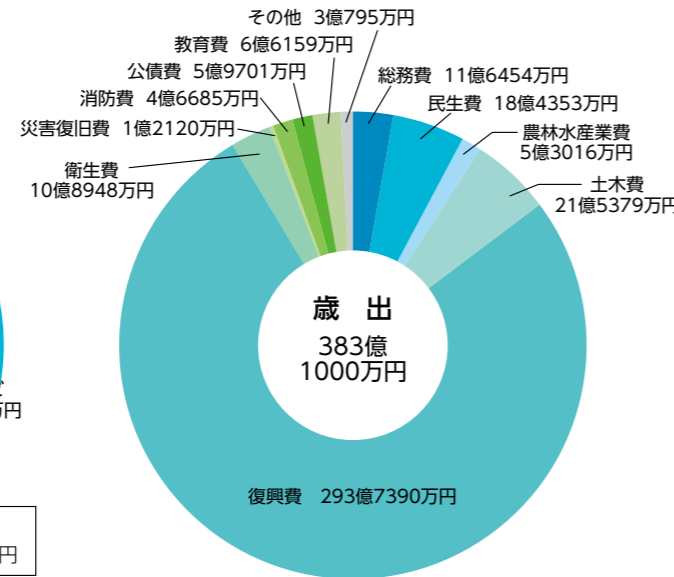
これまで進めてきた復興計画の後継である「第9次大槌町総合計画」の策定に着手しております。これから、各

分野で将来を担う若者や女性、各種団体との検討を重ね、「共感」以上の「共鳴」ができるまちづくりを目指します。計画には、今後10年の大槌を見据え、「産業を振興し町民所得を向上させること」を第一に掲げ、「健康でぬくもりにある社会の構築」と「学びによる郷土文化の育成」、「安全で安心できる生活環境」を創るため、町の限られたあらゆる資源を最大限に活かし、魅力あふれる町の将来像を具体化・具現化してまいります。

## まちづくり

まちづくりには、町民の皆様、各種団体や関係者のみならず、各分野の方々と、現場で向き合い対話しながらそれぞれの現実をしっかりと受け止め、今後予想される課題・問題をいち早く捉え、きめ細やかな対策を講じ丁寧に進める事が必要です。各種分野の現状をしっかりと捉え、次世代に継ぐ明るい大槌を築くため、町民の皆様と一丸となって「愛着と誇りのもてる」自分たちのまちづくりを進めてまいります。

# 平成30年度 町の当初予算



## 【復旧・復興に関する予算】

【一般会計】	
復興整備事業	195億1778万円
災害公営住宅整備事業	15億6048万円
生産物6次化加工施設整備事業	1億7000万円
水産業経営基盤復興整備補助事業	5500万円
保育体制の強化及び保育士対策事業	3910万円
赤浜分館及び復興まちづくり支援施設事業	4億5000万円
大槌町駅観光交流施設整備事業	1億2330万円
斎場整備事業に伴う造成工事	2億円
【特別会計】	
下水道・復興交付金事業	35億1324万円

## 【特別会計予算額】

国民健康保険	18億6846万円
下水道事業	41億5932万円
漁業集落排水処理事業	16億1041万円
介護保険	14億3015万円
後期高齢者医療	1億2083万円

## 【水道事業会計】

	収益的収支	資本的収支
収入	2億6285万円	17億9132万円
支出	5億4867万円	18億9462万円

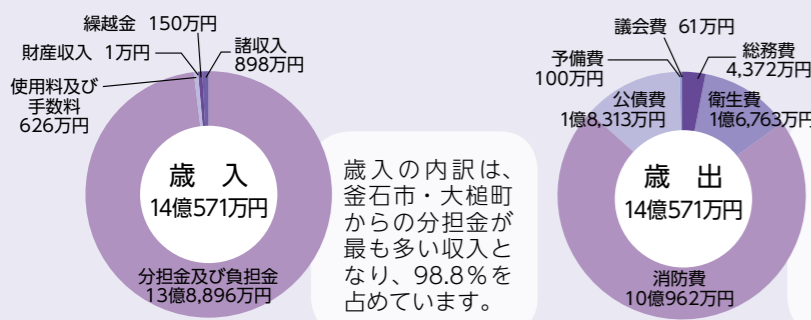
今年度の当初予算が、平成30年第1回大槌町議会定例会において可決されました。平成30年度当初予算は、復興後を見据えた真の大槌再構築を図る為、①中心市街地のさらなる活性化、②産業・なりわい変革を誘導し、町民の所得向上を図り、③交流人口の拡大・移住定住の促進による人口増加を最重要課題の柱とする3本の矢を掲げ、「大槌創生予算」として予算編成しました。

歳出の主なもの、復興事業の一体的な面整備を行う復興事業195億1778万円や災害公営住宅整備事業15億6048万円などです。歳入では、地方交付税において、普通交付税23億7840万円のほか、復旧や復興のための事業に必要な財源不足額を補うための震災復興特別交付税を60億7557万円計上しています。

一般会計と特別会計5会計の予算合計額は、474億9917万円で、前年度に比べて190億8708万円の減少となっております。引き続き、住宅再建や生業の再生を含む、生活環境設備等の事業再生に向けた財源確保に努めてまいります。

## 平成30年度 釜石大槌地区行政事務組合会計の予算をお知らせします

釜石大槌地区行政事務組合は、釜石市・大槌町からの分担金により、共同で消防業務やし尿処理業務を行っています。事務組合議会 2月定例会で可決された平成30年度事務組合予算の概要をお知らせします。



## 【市町分担金内訳】

	分担金(千円)	構成比率(%)
釜石市	9億5,305万円	68.6%
大槌町	4億3,591万円	31.4%
合計	13億8,896万円	100.0%

## 【お問い合わせ】

釜石大槌地区行政事務組合  
業務部 総務課 TEL 0193-31-1336

※端数処理のため、内訳と合計が一致しないことがあります